

這はえば立て立てば歩めの親心 吾が身に積もる老いも忘れて」と謳うたわれる、新しい息吹いぶきに希望たかくを託し、燃え立つ心を抑えきれずにいる自分がいます。衆生しゆじやう済度さいどに明け暮くれる佛様の御加護ごかこを頂き、この一年まずまずの人生を送ることが出来ました。親様 御仏のお蔭で御座うせいます。日々の生活に於いて、目違めちがいを起こすことなく、聞き間違きまちがいする事無く、嘘言うそわず、魂たましいに偽いつわりなく、朝起きてより夜寝るまで、善行ぜんぎやうに励はげむ。これは、お釈迦様の教えであり、是これこそ我々が追求める理想の姿であると思います。しかしながら世情は真逆で、最近色々な事件が勃発ぼつぱつしています。畜生ちゆくしやう・修羅しゆらの世界です。畜生は、弱肉強食で、人命じんめいを尊重そんぢゆうすることなく殺戮さつりくをなんとも思おもわない非道ひだうの輩やからが住む世界です。修羅は、争あつめいごと 戦争を好む輩が住む世界です。側杖そばづえを食くわないように佛の御加護で身を守りましょう。一大事と言う言葉が示す通り、一つの事柄で一大事が勃発する事もあるのです。小さなうちに火を消せば無難となるも大きく燃え盛もってしまつては手が付けられません。それこそ一大事。大事件になつてしまひ、野次馬の恰好な話題と成なつてしまつたのです。私は力士の問題にしても、協会内部の問題もあるうが、司法に任せまかせたら、その判断が下くだるのを待ち、派閥営利でなく、スポーツマンらしく司法の判決が出てから協会が関係者の処罰を下せばよいと思おもいます。世の中は、天道即ち道理をわきまえて歩む事であり、天知る・地知る・人知る・我知る・これを曲げては通れません。天台宗の開祖最澄様が晩年に弟子達に申されたことは お互い仲良くしないではいけない、美しい衣服や、美味しい食物や、綺麗な住まいをほしがつてはいけない、等々修羅畜生に墮おちないように煩惱に負けないようにとの忠告であつたと思おもいます。

種田山頭火も 今日 一日腹を立てない事 今日 一日嘘を言わない事 今日 一日物を無駄にしない事。」と三つの誓を立てての日暮をしました。この金言を胸に刻み込み、平成三〇年を迎えるべく、習慣じゆんぐわいづけておきたいと思おもいます。大栗道楽師は慈悲じひを 怒いかむとは人の喜びを

我がことのように喜あわれべること、悲かなむとは、人の悲かなしみを吾がことのように悲かなしめること」と訳されています。この世は喜怒哀楽、苦楽の集合体です。皆が友として助け合いながら、より良き社会になるように努めましょう。「芸是れ立つ」と言います。森繁久彌さんがおっしゃっていましたが還暦かんれきを過ぎ一線を引いてから、熟年期二十年を楽しく有意義に過くす為に、趣味を伸ばすもよし、新しく挑戦するもよし、「芸を身に着け、世の為に余生を送るのも一計いちけいかと思おもいます。一芸は十年も努力すれば身に付いてくると申します。又、健康の為にも成るか、とも思おもうのです。人間として生きとし生いきれる間、何かしら社会のお役に立てることがあると思おもうのです。来世に佛となつて佛のあとを継つぐにきまつた菩薩の生まれ出る世界が兜率天とすとてんです。我らもここに住もうでわなにか。

輝く年を迎えましょう。

二十九年十二月一日

善壽男善入院油掛地藏尊